

ポータブル撮影装置

ポータブル撮影装置とは

移動が困難な患者様に対して X 線検査を行う装置です。患者様は病室のベッド上で検査を受けることができます。ポータブル撮影装置では、胸部や腹部、四肢など様々な撮影を行うことができます。

当院にはポータブル撮影装置が 3 台あり、病棟、手術室、NICU でそれぞれ使用しています。

使用装置について

- ・ポータブル撮影装置
日立製作所 製 Sirius Star 3 台



- ・検出器（ワイヤレス FPD）

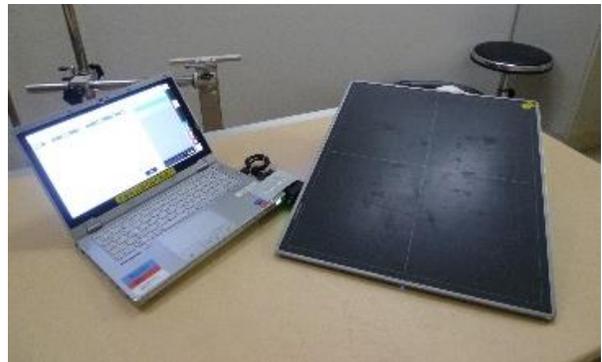
FUJIFILM 製

FUJIFILM DR CALNEO Smart C12 1 台

FUJIFILM DR CALNEO Smart S47 1 台

特徴

FUJIFILM 独自開発のノイズ低減回路と画像読取技術の ISS 方式の FPD を搭載し、蛍光体には X 線エネルギーの変換効率が高い CsI（ヨウ化セシウム）あるいは GOS（ガドリニウムオキサイドサルファ）を採用しているため、低線量で高画質な撮影が可能です。また、撮影したその場で画像が取得できるため迅速な診療に役立ちます。



操作用 PC とワイヤレス FPD

検査の流れ

- ① 撮影が必要な患者様の病室に伺います。
- ② 撮影する部位の下や横に検出器（ワイヤレス FPD）を置きます。
- ③ 胸部や腹部などの場合は、息を止めて撮影します。